

山野ニ皆アリ、樹石垣籬ヲ纏フ、ソノ藤舊キ者ハ粗大ナリ、葉ハ橘葉ニ似テ兩對ス、厚シテ深綠色、冬モ凋マズ、紅紫色ニ變ズ、莖葉ヲ斷バ白汁ヲ出ス、又細葉ナル者アリ、皆夏月葉間ニ細莖ヲ抽テ枝ヲ分テ花ヲ開ク、大サ錢ノ如シ、五瓣ニシテ微ク回旋ス、其色白シ、老スレバ黃ニ變ズ、瓣厚シテ香氣アリ、後小莢ヲ結ブ、筑後ニテバ、バノカンザシト呼ブ、其莢圓長七八寸、形箸ノ如シ、一莖ニ二角下垂ス、又變ジテ五六角ナル者モアリ、熟スレバ紅紫色内ニ白絮アリ、蘿摩絨ノ如シ、後莢自ラ開キ絮飛ビ去ル、絮ゴトニ一子アリ、落テ生ジャスシ、一種葉至テ小ナル者、冬ニ至テ紅或ハ紫ニ變ジ、土石間ニ繁延スル者ヲ、セギダカツラト呼ブ、即石血ナリ、宜シク藏器ノ説ニ從フテ別物トナスベシ、

〔廣益地錦抄〕七絡石（七） 葉は蔦に似たり、鴨の掌のごとく、四季共に青葉にて冬もかれず、大木にからみて高く上る、後は大木の葉をかくすほどまげける、蔓より根を出して木にとり付、黒く實をむすぶ、

丁子草
〔大和本草〕七花（七）草 花ハ丁子ノ形ニ似テ淺葱色ナリ、四月ニ開ク、葉ハ柳葉ニ似テ、中ノタテ筋微白シ、

〔和漢三才圖會〕九十四末 丁子草（丁子草） 俗稱本名未詳

按丁子草高尺許、葉似澤桔梗而細長、又似山丹三月葉間著花、層層其形如丁子而紫色、結莢大可綠豆而一柑二莢、向上如角、

〔武江產物志〕藥草尾久ノ原 丁子草

〔本草和名〕九蘿摩子、一名丸蘭、一名雀瓢、一名苦丸、出、荷、把、條、一名地乳、出、大、清、經、和名加々美。

〔倭名類聚抄〕二十芫蘭。本草云蘿摩子、一名芫蘭、上、番、丸、和、名、加々美。

〔箋注倭名類聚抄〕十唐本先附云蘿摩子、陸機云、一名芫蘭、幽州謂之雀瓢、此所引即是、蘇注云、按雀

蘿摩